

同窓会報

城 友

第 3 号

発行月日
平成 4 年 10 月 16 日

発行者 城西大学付属川越高校同窓会 川越市山田東町1042 TEL 0492(24)5665 FAX 0492(23)2371
発行所 望月印刷株式会社 大宮市桜木町4-444 TEL 048(641)6651 FAX 048(645)0663



城西川越中学校開校

例年、高校へは、二百以上の
中学から生徒が入学してきます
が、中学校の指導の仕方では基礎
のできていない生徒とそうでない
生徒がいて、その差をなくすた
めに二ヶ月程かかるのが実状で
す。そこで中高一貫教育で差を
なくし、内部生が外から入って
くる生徒の見本・リーダーにな
ってくださることを願って、平成
四年四月に中学校が開校されま
した。

中学一年から高校三年にいた
る六カ年は、子供が大きく成長
する時期でもあります。この時
期に成長の過程を把握し得る中
高一貫教育は、子供の特性に必
じたき細かい指導が可能です。
そこで、城西川越中学は、基礎
学力の充実と道徳的な生活習慣
の育成を基本として、自立協調
の精神を尊び、健康な身体と実
践力を育成し、さらに責任を
重んじ、かつ礼儀正しい態度を
育成することを目標としてまい
ります。

ご支援をお願い致します。

同窓生の皆さんへ



同窓会会長(一期生)
大坂谷 良弘

会報「城友」も、第三号の発行となりました。同窓生の皆さんへは、「母校このころ」の項を通じて、クラブ活動や進学状況をお知らせしていますが、懐かしさや驚きを感じているのではないかと思います。自分の巣立った母校をもう一度見にくる気持ちになってもらえましたか。

さて、同窓会本部では、毎年四月に年度スタートして、年一回の通常役員会と、二・三回の企画会議を行っています。このなかで、毎回議題として取り上げられているのが、同窓会組織の充実と、同窓生や在校生への同窓会の意識付けです。そんな中、二つほど大きな進歩がありましたので、ここに報告します。

役員になったのではなく、クラス委員をしていて、自動的に同窓会役員になったので、中には自分がこのような役目を受けているというのを、知らない人も沢山いると思う。」という話がありました。

全くその通りで、皆さんも誰が役員なのか、また自分が三学年の時クラス委員だったことも忘れている人もいます。同窓会活動に興味のある人間を選出して頂きたいとお願ひして、役員の選出方法を平成三年度卒業生から、クラス二名の立候補制としました。きっと彼らは、本会に新風を吹き込んでくれることでしょう。

二つ目は、今年初めて、学園祭「けやき祭」への参加を行ったという事です。第一回目の催し物は、「なます号」による地震体験です。セッティングの場所は正面玄関ロケターと良い場所、けやき祭実行委員会からもたいへん大きな御協力を頂きました。当日は、学校近辺の子供達や他校の生

徒達が列を成し、大きな歓声が湧き大成功に終わりました。今後も力の続くかぎり「けやき祭」へ参加していきたいと考えています。「けやき祭」は毎年九月の第一の土・日曜日です。家族・恋人同伴で、お祭り感覚で立ち寄って下さい。年に一度は母校へ。

さらなる発展を望みつ



同窓会幹事長(二期生)
猪瀬 晴久

卒業生の皆様がお過ごしでしょうか。仕事に学業にと励まれていること存じます。先日、同窓会役員会を催した際に、新任役員の方の年齢が、自分の年齢のほぼ半分であることに、流れていった時間のウェリニームを思い軽い感傷を感じざるを得ませんでした。私も同窓会に携わるようになって六年の月日がたちま

したが、その間の活動の中で、この同窓会報「城友」の発行が軌道に乗ってきたことが、大きな成果と想います。これには、斎藤副校長の「会報を発刊したらどうか」というご示唆により、学校・ご担当である志賀先生、若山先生や各先生方のご配慮そして各役員や卒



文化祭参加

今回、同窓会が初めて文化祭に参加致しました。一回目の催し物である「川越なます号」による地震体験は大好評でした。



OBだより

頑張ってます!!



一期生
山田 朋之

城西川越の字を見て先ず想いつくのは、土手と校舎の間に立つ数本のドングリの木である。小学生の頃から身体は大きく運動は得意であったが、絵も好きで中学・高校と美術部に籍を置いた。部活の場所は、当時の芸術室で廊下の向こうに木々が見えた。初めは枝が落とされていて淋しい状態であったが、二年目の夏には青々として絵にした。また、マラソン大会の度に背後から迫る教頭の声に焦る心も、このクマギ林が見えて来ると一安心と言ったことまであった。さて本題に入ります。学問とは、物事を分類又は区別する事で人間の平和と文化の発展の為に・・・と言うやつで、大学と言うのは、これを通して論理的に物事を解釈して合理的に対処する術を習得する処とあります。これが何々の虫には大変役に立ちます。楳嶽は力という格言があります。が、昆虫を追いかけて三十余年トシホ、バツタに始まり甲虫ときて

蟲

高校の頃は、蜻蛉目を始めた頃でした。通常だとコレクターになる所を、絵をたしなむせいか香鱗や鱗片の構造色に興味が向いてプレート作りで精を出したもので、自己満足で終わっても知識を深めると腹の蟲が納まって勉強の蟲がさらに湧き出てきます。現在フライフィッシングにのめり込んでいて、サルモグニエルを釣る為に淡水利用型昆虫類の生態を観察しています。



六期生
円谷 真

自分が
やりたいことは

私が城西川越高校を卒業してからの四年間は、今思い返せば無為だったかも知れないが、教授との、また学生仲間との出会いは、とても有意義であったと思えます。それは、それまで自分の知らなかった事や、人間関係・社会、そういったいろいろな意味での視野を広げてもらえたから。しかし、企業に入って、「自分のやりたいことは何なのか」とこの命題にぶち当たりました。昔さんは



十三期生
松本 強

会社と野球

私は十三期の松本と申します。我母校城西川越を卒業して、はや

五年の月日が流れ、今ではこのような原稿を書く年になったことに驚いています。

現在は伊藤忠商事株式会社のエネルギー部門にて、石油の販売を行っております。商社とは、時に違わず厳しいところで、毎日のように校られております。時には上司に、時にはお客さんにと、その数を数えたら気が遠くなる程です。こんな仕事の終わる十時、十一時頃には必ず夜食と称した飲み会が待っており、辛い体に更にムチを打つ毎日です。

こんな自分を精神・体力両面で支えているのは、何を随そう城西野球部時代の様々な経験だと感じています。今でも私の机の上には夏の大会に登板した時の写真が飾ってあるのです。この写真を見る度に、「あの頃のほうが辛かったじゃないか、でもやってこられたじゃないか」と思いつつ、苦し紛れに濁の浮いた川の水を飲んだ事や顔をくいしばってドテマラを走ったことなどが思い起こされ、ついつい頑張ろうという気になります。先日久しぶりに母校を尋ねると後輩達が熱心に白球を追いかけていました。そろそろもう一度あの頃の気持ちを思い出さなければなりません。そんな、そんな今日この頃です。

母校このころ

トレーニングルーム



トレーニングルーム

昨年本校二十周年を控え、記念事業により体育館東側に、東館が設立されました。その一階がトレーニングルームとなりました。トレーニングルームは、冷暖房完備、二つの壁が鏡となっており、トレーニングが行いやすくなっています。器具も、全身持久力を鍛えるエアロバイクが三百、ステイアマスター（附台昇降）が三台、トレッドマシン（ランニングマシン）が二台あり、筋力を鍛える器具として、コンビネーションマシン、セットバーベル、ダンベ

ルセット、フリーウエイト器具がそろっています。

利用状況は、主にクラブ活動にて放課後計画的に筋力アップに励んでいます。ただ、クラブ数が多い為、週二回となっております。各クラブ工夫をこらしています。一般生徒は、体育の授業を使って利用しています。

我々の時代には、各クラブのバーベルで鍛えていましたが、この素晴らしいトレーニングルームを同窓生の皆さん、見学に来て下さい。 体育科 日色 眞寛

校門

九月、学校入口に校門が完成し城西川越高校・中学校の「新しい顔」が誕生した。

校門と扉に閉まれた市街地の学校では味わえない開放感が本校の印象の一つでもあったが、二十年の歳月を重ねた今、その歴史にふさわしい姿を求める声も多く、学校後援会の尽力により竣工し、学園に寄贈された。

先輩格の柳の大樹や檀恩感謝碑とともに、本校のあゆみを見守ってくれることだろう。

中学校 開校する



〈英会話の授業風景〉

理科の実験・体育の実技・美術のスケッチが開始される。国語・数学・英語などの宿題、小テストがどんどん増えてきた。高校生よりも多いのではないかと思います。生徒のやる気あふれる姿に、担当の先生もうれし顔。

○4月17日（金）ザリガニ 生徒が登校途中の小川でザリガニを取ってくる。「先生、飼育しよう」の声に、一瞬びっくり。自然にめぐまれた環境であることを感じた。生徒の元気さはすごい。

○5月2日（土）長瀬へ遠足 川越駅東口に集合。天候にめぐまれ、電車で長瀬に着いた時には生徒も半そで姿。初夏らしく、すがすがしい。ロープウェイで宝登山に登ったり、岩盤で弁当を広げて昼食（写真）。午後は自然史博物館



〈遠足・長瀬岩盤〉

○6月6日（土）授業参観 大部分の父母が出席。「ハイ、ハイ」の生徒の挙手。「これこそ授業なのだ」と感激に浸ってしまう先生。生徒の貪欲な知識の吸収力のすこさに圧倒されつつ驚く。

○7月17日（金）ドッジボール クラス対抗ドッジボール大会。城西ルール（2つのボール）で先生も参加。動きまわること一時間、やっとな勝負がつく。きつくと、楽しい、すがすがしい汗を流した。



〈運動会・綱引き〉

平成4年度入試 大学合格者数

〈 国公立大学 〉

平成4年5月

大 学	現役生	過年度生	合 計	大 学	現役生	過年度生	合 計	大 学	現役生	過年度生	合 計
北海道	2 (1)	0 (1)	2 (2)	東京学芸	0 (0)	1 (0)	1 (0)	大阪外国語	0 (0)	1 (0)	1 (0)
弘 前	1 (1)	0 (0)	1 (1)	東京農工	5 (2)	1 (1)	6 (3)	香 川	0 (0)	1 (0)	1 (0)
東 北	5 (2)	1 (4)	6 (6)	東京水産	1 (0)	0 (1)	1 (1)	鹿 児 島	0 (0)	1 (0)	1 (0)
岩 手	1 (1)	0 (0)	1 (1)	電気通信	9 (1)	1 (4)	10 (5)	高 崎 経 済	2 (4)	1 (3)	3 (7)
山 形	3 (4)	0 (1)	3 (5)	一 橋	0 (0)	2 (1)	2 (1)	東京都立	4 (2)	2 (1)	6 (3)
宇 都 宮	1 (1)	0 (0)	1 (1)	新 潟	3 (0)	0 (2)	3 (2)	横浜市立	1 (5)	2 (1)	3 (6)
群 馬	4 (0)	1 (1)	5 (1)	富 山	1 (0)	1 (1)	2 (1)	京都府立医科	0 (0)	1 (0)	1 (0)
埼 玉	11(10)	7 (7)	18(17)	金 沢	1 (0)	0 (0)	1 (0)	そ の 他	0(10)	0(11)	0(21)
千 葉	3 (3)	1 (2)	4 (5)	信 州	5 (1)	0 (1)	5 (2)				
東 京	0 (1)	1 (1)	1 (2)	大 阪	1 (0)	0 (0)	1 (0)	合 計	64(49)	26(44)	90(93)

〈 大 学 校 〉

大 学	現役生	過年度生	合 計	大 学	現役生	過年度生	合 計	大 学	現役生	過年度生	合 計
防 衛	7 (9)	0 (0)	7 (9)	防衛医科	0 (0)	1 (0)	1 (0)	航空保安	0 (0)	0 (1)	0 (1)
職業訓練	2 (0)	0 (0)	2 (0)	水 産	0 (0)	0 (1)	0 (1)	合 計	9 (9)	1 (2)	10(11)

〈 私 立 大 学 〉

大 学	現役生	過年度生	合 計	大 学	現役生	過年度生	合 計	大 学	現役生	過年度生	合 計
関東学園	0 (4)	1 (0)	1 (4)	専 修	11 (5)	7(10)	18(15)	神 奈 川	2 (7)	17(12)	19(19)
皇利工業	1 (1)	3 (0)	4 (1)	大東文化	25(23)	57(31)	82(54)	神奈川工科	1 (1)	4 (4)	5 (5)
埼玉工業	0 (1)	1 (0)	1 (1)	高千穂商科	3 (2)	5 (4)	8 (6)	関東学院	0 (1)	7 (4)	7 (5)
城西	34(37)	12 (8)	46(45)	拓 殖	1 (3)	5(13)	6(16)	湘南工科	5 (0)	2 (2)	7 (2)
駿河台	9 (8)	9(16)	18(24)	多 摩	1 (0)	1 (1)	2 (1)	東京工芸	0 (2)	1 (2)	1 (4)
聖学院	0 (0)	1 (2)	1 (2)	玉 川	2 (4)	5 (2)	7 (6)	龍 谷	1 (0)	0 (1)	1 (1)
東京国際	16(11)	22(14)	38(25)	中 央	27(19)	26(27)	53(46)	同志社	3 (0)	2 (1)	5 (1)
独 協	8 (4)	20 (9)	28(13)	帝 京	10(12)	11 (7)	21(19)	立 命 館	4 (3)	1 (1)	5 (4)
文教	2 (0)	2 (2)	4 (2)	東 海	14(11)	13 (8)	27(19)	関 西	0 (0)	1 (1)	1 (1)
明 海	3 (4)	4 (6)	7(10)	東京経済	15 (5)	18(16)	34(21)	愛知学院	1 (0)	0 (0)	1 (0)
千葉工業	0 (8)	4 (2)	4(10)	東京工科	1 (2)	0 (1)	1 (3)	青 森	0 (0)	1 (0)	1 (0)
中央学院	5 (3)	3 (5)	8 (8)	東京電機	23(21)	14(14)	37(35)	いわき明星	0 (0)	1 (0)	1 (0)
青山学院	23(13)	14(15)	37(28)	東京農業	2 (7)	2 (5)	4(12)	神田外国語	0 (0)	1 (0)	1 (0)
亜細亜	8 (6)	11 (7)	19(13)	東京薬科	2 (0)	1 (1)	3 (1)	岐阜教育	0 (0)	1 (0)	1 (0)
桜美林	0 (1)	3 (1)	3 (2)	東京理科	19(13)	14(15)	33(28)	九州産業	1 (0)	0 (0)	1 (0)
学習院	6 (3)	6 (2)	12 (5)	東 邦	4 (0)	2 (3)	6 (3)	京都外国語	1 (0)	0 (0)	1 (0)
北 里	0 (4)	2 (1)	2 (5)	東 洋	26(20)	28(38)	54(58)	作新学院	0 (0)	2 (0)	2 (0)
杏 林	1 (0)	1 (1)	2 (1)	二 松 学 会	1 (0)	0 (1)	1 (1)	創 価	1 (0)	1 (0)	2 (0)
慶応義塾	5 (3)	10 (9)	15(12)	日 本	74(56)	50(56)	124(112)	大 正	1 (0)	2 (0)	3 (0)
工学院	9(17)	9(15)	18(32)	法 政	12 (9)	24(17)	36(26)	高岡法科経済	0 (0)	1 (0)	1 (0)
国学院	2 (0)	5 (4)	7 (4)	法 政	12 (9)	24(17)	36(26)	東京慈恵医科	0 (0)	1 (0)	1 (0)
国士館	2(11)	14(11)	16(22)	星 薬 科	2 (2)	0 (0)	2 (2)	東京造形	0 (0)	1 (0)	1 (0)
駒 沢	8 (4)	34 (9)	42(13)	武 蔵 工 業	5 (1)	17 (7)	22 (8)	新潟薬科	1 (0)	1 (0)	2 (0)
芝浦工業	9 (4)	7 (8)	16(12)	明 治 学 院	25(20)	37(30)	62(50)	日本医科	0 (0)	1 (0)	1 (0)
順 天 堂	0 (1)	1 (0)	1 (1)	明治学院	8(17)	16 (7)	24(24)	日本歯科	0 (0)	1 (0)	1 (0)
上 智	8 (7)	4 (9)	12(16)	明治薬科	6(11)	1 (1)	7(12)	日本社会事業	0 (0)	1 (0)	1 (0)
昭和薬科	1 (3)	0 (1)	1 (4)	明 星	16 (1)	9 (8)	25 (9)	日本獣医畜産	1 (0)	0 (0)	1 (0)
成 経	23(17)	26(15)	49(32)	立 教	9 (7)	8(13)	17(20)	流通経済	0 (0)	3 (0)	3 (0)
成 城	1 (6)	12 (8)	13(14)	立 正	2 (3)	11 (6)	13 (9)	そ の 他	0 (7)	0(18)	0(25)
				早 稲 田	13(14)	27(34)	40(48)				
								合 計	573	713	1286
									(495)	(814)	(1109)

※ () 内は昨年度合格者数

〈 卒業生進路状況 〉

大 学	254名	66.0%	就 職	0名	0%
短期大学	0名	0%	進路未定	298名	53.7%
専門学校	2名	0.3%	合 計	554名	100%

〈 城西大学推薦入学者数 〉

経済学科	10名	数学科	0名	製菓学科	0名
経営学科	12名	薬学科	0名	化学科	0名
		合 計	22名		

OB会活動シリーズ

柔道部

我が柔道部OB会は、昭和五十五年発足以来会員数も七十名を超え、会に顔を出すと、こわかった先輩、共に汗を流した同期、指導した後輩達と懐かしい顔に会える。現役のところとは比べようもなく太った者、結婚して子供がいる者、卒業し新たに入会した者と学生の間とは違う一面を垣間見ることが出来る。世代は違っても同じ柔道を通し汗を流した者同士違和感はない。それぞれ社会人として又、学生として多忙な中、一丸となって会を運営しております。

合宿等あれば積極的に参加し部員達に胸を貸し激励し好成績を期待しています。歴史の浅い我が城西川越柔道部OB会ではあります。が、部員、会員それぞれにコミュニケーションを大切に各自が協力しあい会を盛り上げようと努力しております。

城西会

城西会は、城西高校および城西川越高校の卒業生で、城西歯科大学(現明海大学歯学部)を卒業した歯科医師の勉強会の名称です。現在栗原先生(城西高校出身の先生ですが)を会長に、会員数は

30名を超えています。主な活動内容は、2か月に1回の割で勉強会を池袋で開催し、それぞれの先生方が日々歯科臨床で感じる疑問点を検討したり、研究の成果を発表したり、とても充実した内容となっております。また著名な講師の先生をお呼びして貴重な講演をお聞きし、明日からの診療に応用できるような企画も行っています。

また在校生の行事にも積極的に参加し、援助を行い親密に交流を深めています。単に先輩・後輩という関係だけでなく、昔根底には城西魂があり、これが会の活動の支えになっていると感じられます。

転勤

二期生 島田宣利

今、高校卒業時、こんなに転勤のある仕事に従事するとは考えもいませんでした。大学に進学し四年間、世の中をしつかりと社会勉強し、最後に選んだ会社が今の会社です。私としては将来、店を持ちたいという夢は捨ててはいませんが現在は満足しています。それは定年後でも夢はかなえられると考えています。

さて、私の会社は、生命保険会社です。入社して二年間、

スタートが東京(日本橋)です。ここに八ヶ月、二ヶ所目が大宮、ここに二年間、三ヶ所目が群馬県の前橋、ここには二年間、四ヶ所目が、なんと広島です。ここに一年間、五ヶ所目が大阪の岸和田市、ここで初めて自分担当の支部を持たせて頂きまし

た。ここには三年間、六ヶ所目は栃木県小山市、三年間、そして現在七ヶ所目が福島県郡山市にきています。平均二年間という、それぞれの都市で、食生活だけは最高でした。その土地の名物、特に酒、魚など大変、おいしい物を食べさせて頂き転勤も苦にはならなくなってきました。それより、その土地を去る時の方が辛いですよ。人は感情の動物ですから。ちなみに会社は第百生命です。

新任教職員紹介



森原 和美 (養護)



神田 郁郎 (技術科)



関根 政二 (英語)



関根 政二 (技術)

編集後記

試行錯誤で刊行に頭を悩ます我々編集スタッフに閉鎖がグー一本校卒業生であり、現在望月印刷株式会社勤務の長谷川治生君が今号より新たに編集委員に参加することになった。まさに、鬼に金棒。が我々の正直な気持である。レイアウトも一新し、今後さらに紙面の充実を計ってゆけるものと信じている。又、九月五・六日の、けやき祭。においては、長年の企画事項であった、同窓会独自の文化祭への参加、もなんとか実現にこぎつけた。川越消防署の御協力により、ナマズ号。で多くの来校者に、震度七の地震を体験してもらった。なるほど地味ではあるが、同窓会は、着実にその輪を広げ、深めている。

寄稿のお願い

同窓生のご活躍の様子や同級会などの報告を事務局までお知らせ下さい。

川越市山田東町一〇四二
同窓会事務局

☎〇西九二一四一五六六五代